

報道関係者各位

2022年4月1日 配信 No.2022-01  
立命館アジア太平洋大学 (APU)

## 立命館アジア太平洋大学×みやま市 包括協定締結 協定式のご案内

～サステナビリティを学部名に掲げ次代の人材育成に取り組む大学と行政が連携～

2023年4月に「サステナビリティ観光学部（設置構想中）」を開設し、持続可能な社会の実現を目指す立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：出口治明、APU）と、ゼロ・カーボンシティを宣言した福岡県みやま市が連携します。

学生の半数が海外からの留学生であるAPUと、みやまスマートエネルギーやバイオマスセンターを有するみやま市が、双方の特徴を活かした友好的な交流を通じて、持続可能な脱炭素社会の構築と人材の育成に取り組みます。加えて、さまざまな環境研究・教育をみやま市で行うことで、関係人口の増加によるみやま市の地域振興を目指します。

については協定式を執り行いますので、下記のとおりお知らせします。

### 【協定式】

日時： 2022年4月14日（木）11:00～12:00（予定）

場所： みやま市役所 本庁 委員会室（本館4階）  
福岡県みやま市瀬高町小川5番地

出席者：みやま市長 松嶋 盛人（まつしま もりと）  
立命館アジア太平洋大学 副学長 米山 裕（よねやま ひろし）

内容： あいさつ、協定書への署名、写真撮影、質疑応答

### 【想定している交流事業】

○インターンシップ、フィールドワーク

- ・みやまスマートエネルギーの取り組み、バイオマスセンターの生ごみ資源化、学校跡地利用の取り組みを学ぶ
- ・市宿泊施設清水山荘で1泊2,400円の低料金での滞在。バイオマスセンター視察費500円の免除等

○研究・教育への支援

- ・市職員による講義、講演

○卒業研究・プロジェクトのテーマや生ごみ量等の基礎データ・情報の提供

- ・みやま市の取り組みをテーマとした卒論の情報提供を希望する学生を支援
- ・「みやま市ゼロカーボン達成の施策案」「みやま市における生ごみ収集の効率化の提案」などをテーマとした卒業研究やプロジェクトはみやま市の政策策定の貴重な財産となる。

### 【協定式に関するお問い合わせ先】

みやま市環境衛生課 循環型社会推進係（担当：今村、山下）  
TEL：0944-32-8575

\*取材をご希望の方は上記みやま市の担当者まで、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。